

恵那市の情報を分かりやすくお伝えします！



ENA CITY
PUBLIC RELATIONS
NO. 236

広報えな

2 / 1

2015 / 平成27年

特集 『健幸のまちづくり基本計画』

市障がい福祉計画	8 ~ 9
お知らせ	10 ~ 12
声・掲示板	13
トピックス、1歳写真	14 ~ 16
恵那人	17
先人の宝、恵那写真館	18

今月の
ベストショット

はしご登りの心意気

消防出初式が1月4日に開催されました。恵那文化センターでの式典の後、JR恵那駅前での分列行進が行われ、消防団や消防車両などの分列行進が行われました。恵那トビはしご登りでは、10基並んだはしごの上で登り手が「やあ」の掛け声とともに次々に技を披露。技が決まると、見物客からは大きな歓声や拍手が湧いていました。



健康づくりで健康寿命を延ばす

「健康のまちづくり基本計画」を考察

市の高齢化率は上昇を続け、平成26年には30%を超えました。いつまでも健康で長生きできることが理想とされますが、健康を失えば生活に支障を来し、介護を必要とする期間が長くなります。市では市民が健康でいる期間を延ばすため、「健康のまちづくり計画」の策定に取り組んでいます。ここでは、市の高齢化の状況や計画案の概要などについてお知らせします。

問い合わせ 健康推進課 ☎26-2111 (内線284)

1 高齢化が急速に進行中

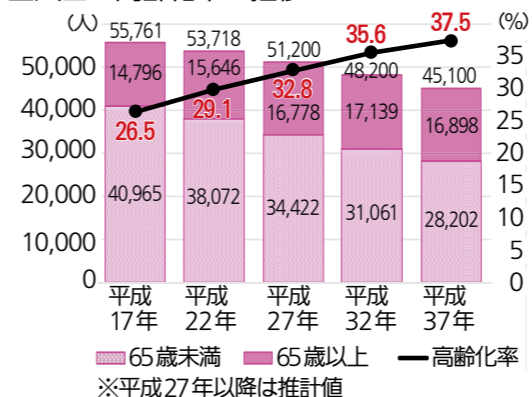
○高齢化の進行状況

市の人口は、平成17年の5万5761人と比べると、平成27年には5万1200人に減少。さらに10年後の平成37年には、4万5100人になると推計されています。

一方、高齢化率は、平成27年は30%を超え、平成37年には37.5%に増加すると推計。3人に1人以上が高齢者になることが見込まれます。

高齢化の進行により、今後も医療費や介護給付費などの社会保障費が急速に増えていくことが予想されています。疾病予防と健康増進などに

■人口と高齢化率の推移



よる健康づくりの重要性が増しています。

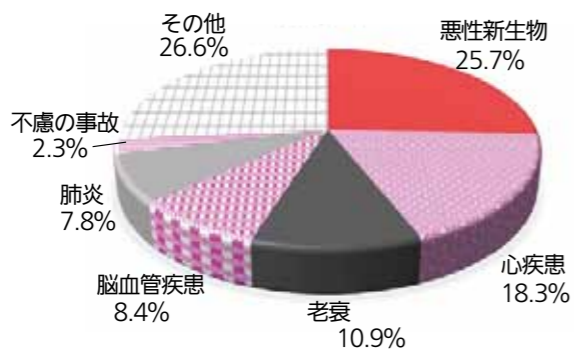
2 高血圧症の人の割合が高い

○健康に関する現状

①死亡原因

市の死亡原因をみると、平成23年では第1位が悪性新生物(がん)、次いで心疾患が第2位、老衰が第3位の順です。悪性新生物は、市でも国でも第1位の死亡原因となっています。市では、特に第2位の心疾患の死亡率が、国や県より高い傾向にあります。

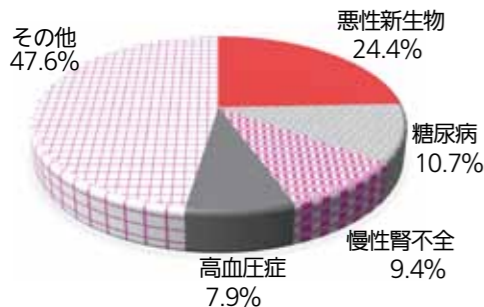
■死亡原因 (恵那市)



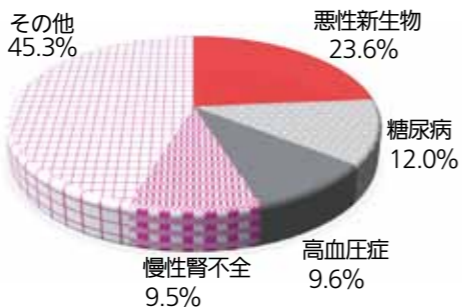
②生活習慣病

市の国民健康保険加入者のうち、生活習慣病での医療費利用が多い病気の種別は、第1位が悪性新生物、

■生活習慣病の病気 (全国)



■生活習慣病の病気 (恵那市)



第2位が糖尿病、第3位が高血圧症、第4位が慢性腎不全となっています。市では、特に第3位の高血圧症の医療費割合が、全国や県より高い傾向にあります。

3 健康寿命を延ばすことが課題

○平均寿命と健康寿命

市民の平均寿命は、男性は78・8歳、女性は86・9歳(平成22年国勢調査)。男性は、県内の市町村では最下位です。

平均寿命と健康寿命の差は、日常生活に制限のある「不健康な期間」を意味します。国の平均寿命と健康寿命の差は、平成22年で男性9・13年、女性12・68年となっています。この差が拡大すれば、家計の医療費や介護費が多く掛かる期間が長くなることとなります。

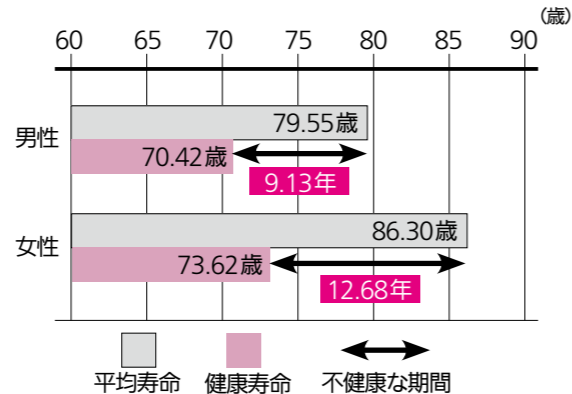
健康寿命を延ばすためには、生活習慣病を防ぐことが重要であると考えられています。日常生活での運動や食事など、生活習慣の改善によって健

4 新たな計画で健康への取り組みを強化

これらの現状などから、健康で長生きできる市民を増やすためには、あらゆる面から健康への取り組みを強化する必要があります。このため、市では、本年度から健康に関する新たな計画の策定に取り組んでいます。

この計画は、「市健康のまちづくり基本計画」と言い、健康増進法に

■平均寿命と健康寿命の差 (全国)

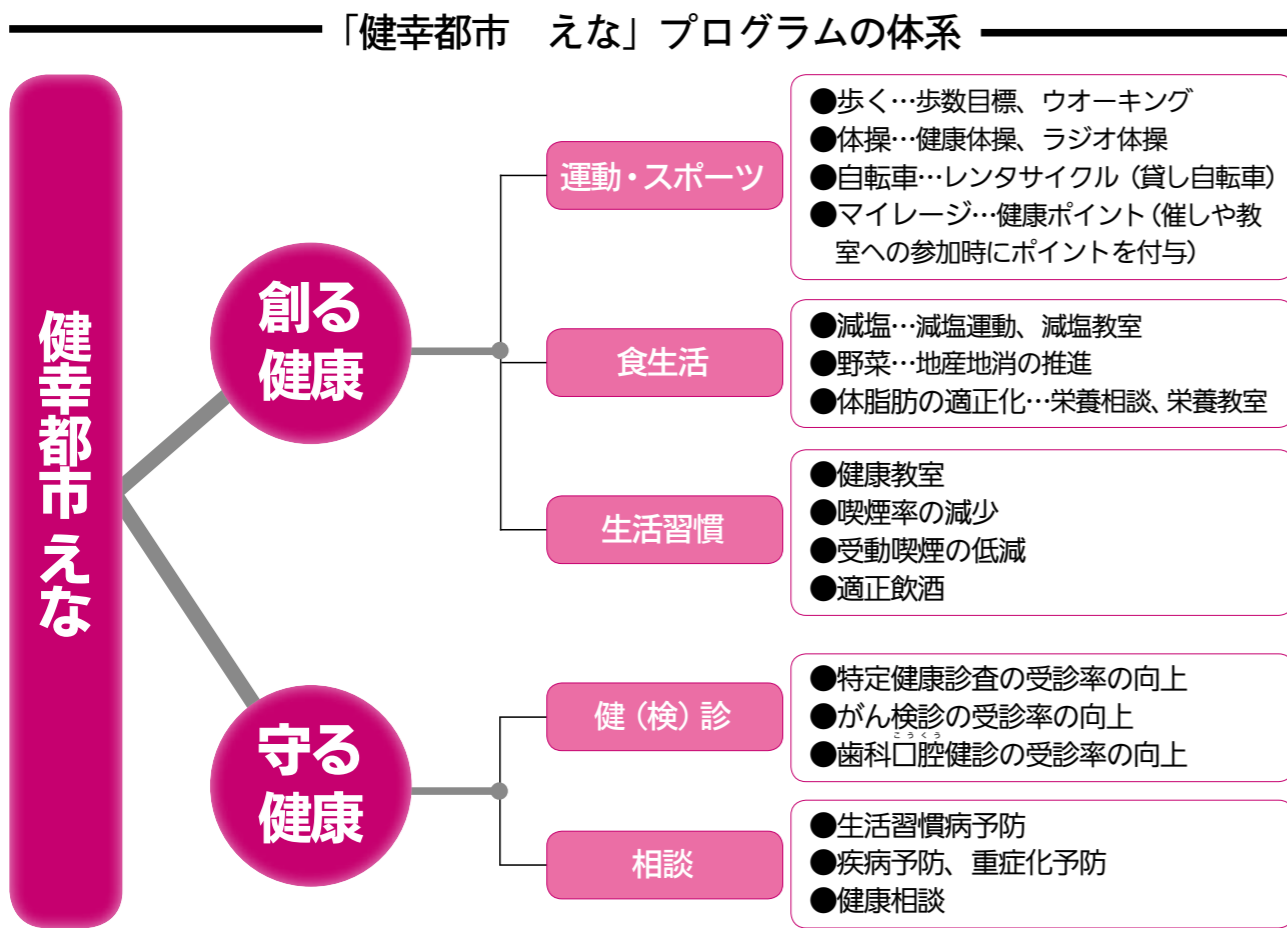


康状態を維持し、増進していくことが重要です。

基づく「市いきいきヘルシープラン2」や、スポーツ基本法に基づく「市スポーツ推進計画」を関連付けた形の策定となります。「健康」とは、いつまでも健康で幸せに暮らせるようにと願う意味の造語です。市では今後、この計画を進めていくことで、市民の健康寿命の延伸を目指します。



▲いつまでも元気でいられるように運動を習う皆さん



▲2本のポールを使って歩行運動を補助し運動効果を増強するノルディックウォーク

健幸のまちづくり基本計画(案) 方針は「創る健康」と「守る健康」

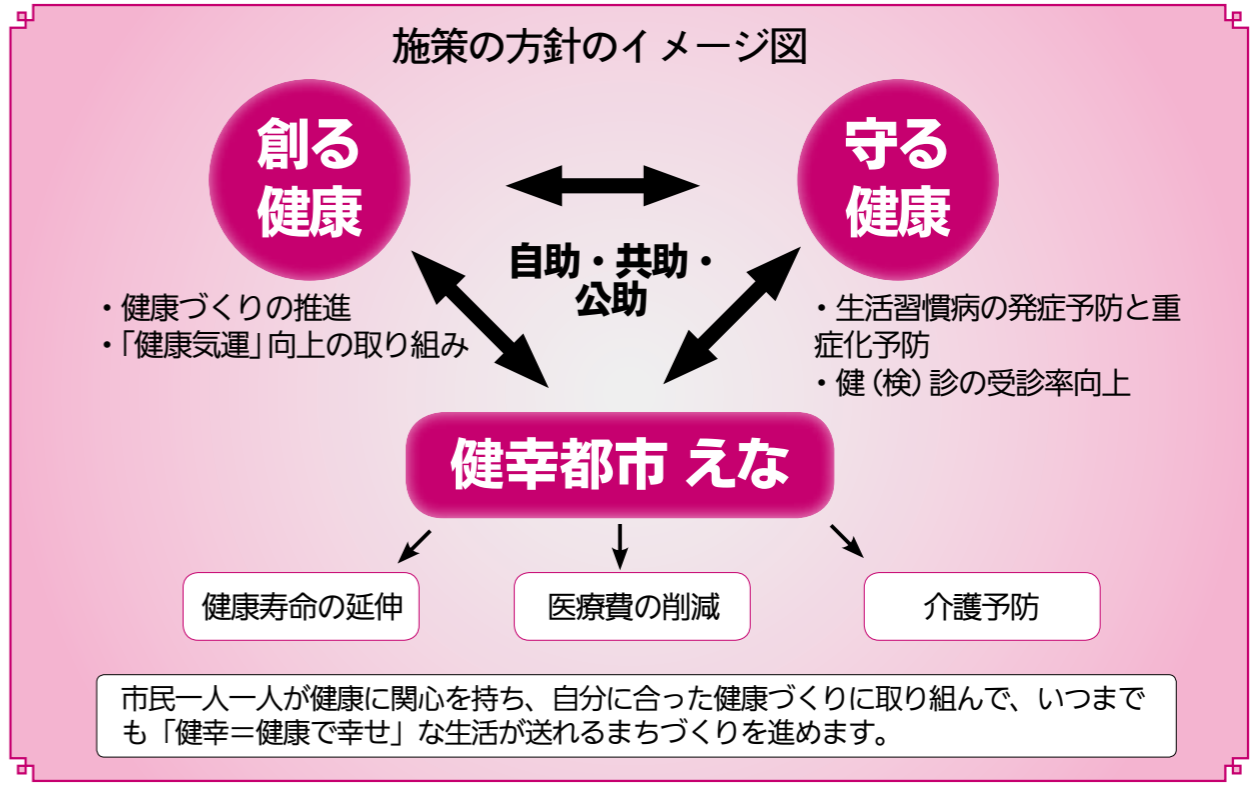
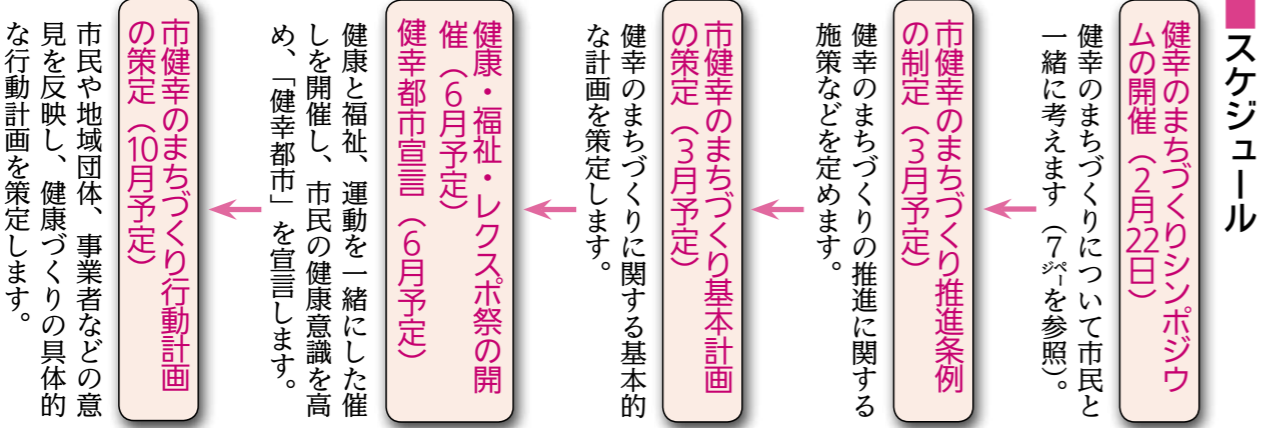
- 目指す姿** 「創る健康」、「守る健康」の施策の方針が相乗効果を発揮し、まち全体で健康づくりを進めることによって、「健幸都市 えな」を目指します。
- 取り組み** 「健康で長生きしたい」とは誰もが願うことです。介護などの必要がなく、健康であることを自覚して日常生活ができる期間を延ばすことによって生きがいを持ち、安心して豊かな生活が送れるよう、健康寿命の延伸の目標に向けて、「創る健康」と「守る健康」の施策の方針に基づき、施策・事業の効果的な連携に取り組んでいきます。

「健幸のまちづくり基本計画」や、健幸都市の実現への取り組みについて意見があれば、健康推進課まで、お寄せください。

健幸都市の実現への取り組み 条例制定や宣言を目指す



▲みんなで輪になって道具を使いながら体を動かす





▲運動に関する意見を出し合うワークショップを開催

気軽に運動できる環境を整備
市では本年度、「市スポーツ推進計画」を策定中です。これは、市民一人一人が気軽に運動やスポーツに取り組める環境を整備し、心身ともに健康で活力あるまちを目指すことを目的として定めるものです。

この計画を策定するに当たっては、現在までにスポーツ推進審議会を1回、策定委員会を4回、市民約



市スポーツ推進計画も策定中 健幸のまちづくり計画との連携図る

3300人を対象としたアンケート調査、未就学児の保護者から高齢者までの約80人を対象としたワークショップを3回行い、それぞれの立場の皆さんからたくさん意見を出してもらいました。

重要な柱は「健康づくり」

計画案では、特に多くの意見があった「健康づくり」、「青少年の健全育成」、「地域コミュニティの活性化」、「交流人口の増大」、「競技力向上」の5項目が柱となります。その中でも特に重要とされているのが、「健康づくり」です。

現在のスポーツ推進計画の策定状況は、健幸のまちづくり基本計画と連携を取りながら、5本の柱ごとに行動計画を策定する準備に入っているところと見えます。

同計画は、平成28年度から運用していく予定です。また「第2次市総合計画」も同年から施行されるため、その中の健康づくりや運動、スポーツ部門の計画として位置付けられることとなります。

市スポーツ推進計画の全容については、本紙3月1日号で、計画案を掲載し、市民の皆さんから意見をもとらって、計画を完成させる予定です。

健幸づくりシンポジウム

「運動の効果と望ましい生活習慣」を考えるシンポジウムを開催します。皆さん、ぜひ来場ください。

- とき 2月22日(日) 午後1時半～4時
- ところ 岩村コミセン

□内容

- 講演会 ①「食の健康について」阿部好正氏(恵那保健所長)
- 「藤枝市の健康推進の取り組みについて」藁科仁美氏(静岡県藤枝市健康企画課保健師)
- パネルディスカッション(本市と他市の健康に関する現状、取り組み紹介、運動や食生活など各分野からの健康づくりへの意見)

- 料金 無料
- 申し込み 不要

問 健康推進課 ☎ 26-2111 (内線284)、文化スポーツ課 (内線332)

- 減塩のコツ!**
味付けの工夫で健康を保つ
- ① 食品の持ち味を生かす
 - ② 昆布やかつお節などの天然食品からだしを取る
 - ③ みそ汁や煮物、そば、うどんなどは味付けを調味料に頼らず、だしを濃厚にする
 - ④ 香味野菜で味にアクセントをミツバやシソ、ネギ、ニンニク、ショウガなどの香味野菜の風味を生かす
 - ⑤ ユズやレモンなどの酸味を上手に効かせる
 - ⑥ ポン酢や黒酢はうまみも強いのでお勧め
 - ⑦ カレー粉やわさび、こしょうなどの香辛料を効かせる
 - ⑧ だし割りしょうゆを使う
 - ⑨ だししょうゆの半分以下
 - ⑩ 食塩が少ないソースやケチャップを上手に使う
 - ⑪ 食塩は1品に重点的に使う
 - ⑫ 主菜はしっかりと味付け、副菜は薄味に
 - ⑬ 仕上げに食塩を使う
 - ⑭ 下味の食塩を薄く、仕上げに食品の表面に掛け塩をする
 - ⑮ 汁物は具だくさんに



▲健康祭で体に良い料理を展示

減塩料理が健康の秘けつ

私たち食生活改善推進委員は、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに掲げ活動する全国的なボランティア組織の一員です。活動の内容は食生活の改善です。今力を入れているのは、料理の塩分を減らす「減塩」を呼び掛けることです。成人が1日に摂取す



市食生活改善協議会
山本さちよさん
(岩村町)

減塩をするには、野菜を多く取ることがポイントの一つです。市内で野菜を作る人は多いのですが、摂取量はまだまだです。野菜を多く取るため、具だくさんのみそ汁など、手短かにできるメニューを考えたり普及させたりしています。

最近では「減塩キャラバン」として、各地区の文化祭などの催しに向いて、減塩を呼び掛けています。減塩のみそ汁を作って、みんなに飲んでもらい、認識を高めてもらっています。この取り組みは、市の健康祭でも行っています。今後はもっと活動の幅を広げたいと思います。子どもの健診や成人の検診の時に向くなど、若い人から高齢者に至るまで、一人でも多くの人に減塩や健康を呼び掛けていきたいと思っています。

運動で足腰の筋力を維持

私は、市の介護予防事業や市民講座などで、健康管理のための運動を教えています。足腰が弱る「ロコモ」を予防するため、太ももや腹の筋肉を鍛える簡単な運動「貯筋運動」があります。これは、貯筋をするように運動を続けることで、筋力を高めるものです。少し体力が衰えたと思うようになる40歳代からやってほしい運動です。また認知症の予防のためには、右手と左手と違う動作をするなどの脳のトレーニングが効果的です。市民講座や運動の教室などでは、脳のトレーニングに加えてストレッチや貯筋運動、全身運動を行い、生活習慣病予防にもつながっています。



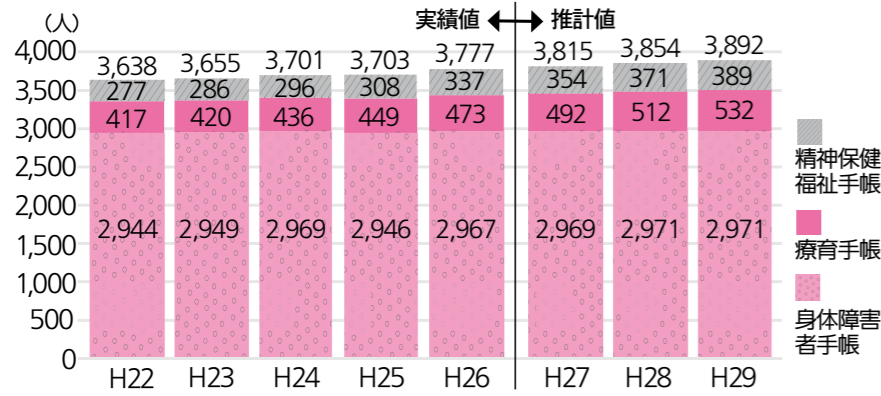
健康運動指導士
吉田宏子さん
(大井町)

健康寿命を延ばすには、地域ぐるみで健康づくりに取り組むことが必要です。地域のウォーキングコースを見直したり、催しを開催したりして、子どもから高齢者までが運動に関心を持てるような環境をつくってほしいと思います。運動は、1人ではなかなか続かないものです。仲間がいるとやる気が出るし、続けられます。最初は、まず仲間づくりから始めるといいと思います。今後は、多くの人と情報交換をしながら活動を広げて、運動の楽しさを伝え、みんなに健康で生き生きと暮らしてもらいたいと思います。



▲足の筋肉を鍛える運動を紹介

障害者手帳所持者の推移



サービス基盤整備を推進
平成23年8月に「障害者基本法の一部を改正する法律」が施行され、その後、平成24年6月に成立した障害者総合支援法では、地域社会における共生の実現に向けて、障がい福祉サービスの充実など、障がい者の日常生活や社会参加を総合的に支援する体制が整備されました。

平成25年6月には、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が成立し、行政機関などは、「社会的障壁の除去」を障がい者や家族から求められた場合に「合理的配慮」をすることを義務付けることとなりました。

市独自のサービスも計画

本計画は、国が定める障がい福祉サービスの「訪問系サービス」と「日中活動系サービス」「居住系サービス」「相談支援」「障がい児サービス」と、市独自の福祉サービス「地域生活支援事業」の六つに区分されています。

本計画は、このような法整備や制度改正などの内容を踏まえ、これまでの障がい福祉計画の進み具合などの分析や評価を行った上で、サービス基盤整備へのさらなる取り組みを着実に進めるため策定します。

訪問系サービスでは、ホームヘルプサービスやガイドヘルプサービスを、日中活動系サービスでは、主にデイサービスやショートステイ、就労訓練などを記載。居住系サービスでは、グループホームや施設入所、相談支援では、サービス利用などの相談を、障がい児サービスでは、児童発達支援や放課後デイサービスなどを記載しています。

「障がい者」の定義

障害者基本法第2条に基づき、身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）その他の心身の機能の障がいがある者であって、障がいや社会的障壁により継続的に日常生活や社会生活に相当な制限を受ける状態にあることを言います。

「障がい」の表記

漢字表記であった「障害」の文字は、法令などに基づくものや固有名詞などを除き、原則として「障がい」と表記します。

また市独自の福祉サービスである地域生活支援事業では障がい者理解の促進やボランティアへの支援、手話通訳者を派遣する意思疎通支援、円滑な日常生活のための日常生活用具の給付、移動の支援などのサービスを記載しています。

これらには、障がい者の自立支援に向けた目標設定やサービスの種類、見込み量を定めています。

計画(案)への意見をお寄せください

市では、市民の意見を計画に反映させるため、第4期障がい福祉計画(案)への意見を募集します。計画案は、社会福祉課や本庁舎情報公開コーナー、各振興事務所、市中央図書館で閲覧できます。市ウェブサイト (<http://www.city.ena.lg.jp/>) にも掲載しています。閲覧期間は、意見募集期間と同じです。
□締め切り 2月16日(月)

□募集方法 本紙1日号(1月1日号など)に折り込みの広報直通便、官製はがき、ファクス、電子メールなどで、①氏名②住所③連絡先一を明記し、お寄せください。見出しは、「障がい福祉計画」などとしてください。
☎ 社会福祉課 〒509-7292(住所不要) ☎ 26-2111(内線181)、☎ 25-7294、✉ shakaifukushi@city.ena.lg.jp

※「障害者手帳所持者の推移」のグラフには、障害者手帳を持たない発達障がい者や難病患者、高次脳機能障がい者などの人数を含んでいません。

見直し計画案に意見を
自立と自己実現に向け目標を設定



▲市障がい者理解教育推進校での福祉体験学習(恵那北中学校)

障がい者に関する計画は、主に二つあります。一つは、障害者基本法に定める市の障がい者の福祉施策に関する計画「障がい者計画」。もう一つは、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)に定める市の障がい者の福祉サービスについての計画「障がい福祉計画」です。

第4期障がい福祉計画
3年間の計画を策定

障がいは、事故や病気などにより、誰にでも生じる可能性があるものです。障がいのある人もない人も、共に生き生きと生活できるまちづくりが求められています。「障がい福祉計画」は、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」に定める市の障がい者の福祉サービスについての計画です。ここでは、来年度から平成29年度までの3年間の「第4期障がい福祉計画」の内容をお知らせし、皆さんから意見を募集します。

第4期障がい福祉計画の期間

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
市障がい者計画									
市障がい福祉計画									

障がい者計画

第3期計画(現在の計画) 第4期計画

募集

施設管理公社の職員

施設管理公社の職員を募集します。
職種 ▽嘱託職員Ⅱ市役所宿日直業務
□定員 1人
□給与 公社規程による
□対象 資格などは不問
□採用予定日 3月26日(木)
□申し込み方法 ハローワークの紹介状と履歴書を持参し、施設管理公社へ申し込む
□申し込み期間 2月2日(月)～25日(水)(必着)
申・問 施設管理公社 ☎ 2518213

案内

第18回定年塾

今回は、午前中に家庭でできるみその造り方を学び、午後は体をケアする方法を学び



▲みその造り方を学ぶ

耳の日フェスティバル

3月3日の「耳の日」にちなんで、耳の日フェスティバルを開催します。
□とき 3月15日(日)午前9時半～午後4時半
□ところ 恵那文化センター
□内容 【午前の部】 模擬店、バリアフリー店、手話教室、出版コーナー、福祉機器

EMぼかし生ごみ堆肥化講座

ふれあいエコプラザの2月の環境講座では、EMぼかしを使って、生ごみを良質な堆肥にする処理方法を学びます。
EMぼかしのブロック処理法や畑に置く設置型コンポストの上手な利用法など、新しい情報もあります。
受講したことがある方でもぜひ参加してください。
□とき 2月26日(木)午前9時



▲参加者にぼかしを呈呈

要介護認定を受けている方 障害者控除の対象

65歳以上の方で、介護保険制度に基づき要介護1から5、要支援2の認定を受けている方は、障害者手帳などを取得してなくても、所得税法や地方税法上の「障害者控除」が受けられます。この控除には「障害者控除対象者認定書」が必要です。希望する方は、介護保険被保険者証を持って、高齢福祉課か恵那南部地域の振興事務所へお越しください。

身体障害者手帳などを持っている方は、手帳を提示することで障害者控除が受けられます。
※本人や家族以外の方が申請する場合は、委任状が必要です
問 高齢福祉課 (内線163)

展示 【午後の部】 アトラクション、講演会 ▽講師Ⅱ野口岳史氏(NHK手話ニュースキャスター) ▽テーマⅡ「手話ニュースの裏話」
□申し込み方法 無料招待券がありますので、社会福祉課に申し込みください。
申・問 社会福祉課 (内線181)

生徒が学校で作った実習製品を販売

阿木高校の生徒が、学校で作った実習製品を販売します。おいしいと評判のりんごジャムや学校の茶園で摘み取った茶、その茶を使ったクッキーなどを販売します。ぜひ、お越しください。
□とき 2月19日(木)午後1時半～4時(完売次第終了します)
□ところ えなてらす(JR恵那駅東隣)
□販売品と価格 ▽りんごジャムⅡ250円 ▽茶Ⅱ300円/100g ▽お茶クッキーⅡ100円 ▽マドレーヌⅡ100円 など
問 中津川市立阿木高等学校 ☎ 057316312243

東濃地区の里親講演会

里親制度の普及啓発を行い、里親の新規開拓と社会的理解の促進を図ることを目的とした講演会を開催します。
□とき 2月21日(土)午後1時半～4時半
□ところ 瑞浪市地域交流センター「ときわ」
□内容 ①里親と里子の体験談 ②語りと講演 ▽講師Ⅱいちかわあつきさん ▽テーマⅡ「みんなわが子」子どもは未来・たからもの」 ③個別相談
□料金 無料
※無料の託児がありますので、希望する方は事前に申し込んでください
申・問 東濃子ども相談センター ☎ 0572123111 (内線403)

パパママ学級

第1子の出生を迎える親を対象としたパパママ学級を開

活力あふれるまちづくり活動に助成

市民活動団体やNPOなどが自主的、主体的に取り組む活力あふれるまちづくり活動に助成する「地域の元気発信事業(ソフト事業)」を募集します。本事業は今回の募集で終了します。
□対象 次の条件を全て満たす団体。①市内を拠点に活動している団体で、構成員5人以上、継続的な活動が期待できる団体②宗教や政治に関する活動、公序良俗に反する活動を行わない団体
□対象の事業 ①交流人口拡大につながるイベントの開催②地域の観光などの情報発信③市外との地域間交流④地域資源を生かした特

産品やブランドの開発⑤にぎわいのあるまちづくりを進めるための事業⑥その他交流人口の拡大に結びつく事業⑦前記事業を進めるための調査研究事業
□助成金の額など ▷助成率=助成対象経費の100分の95以内 ▷助成額=100万円～300万円
□助成の条件 次の条件を全て満たすこと。①国や県、市からの他の補助金を受けていないこと(受ける予定がないこと)②特定の団体や個人の収益を目的としないこと③行政との協働事業で実施すること④同一の対象事業への助成は3回を限度とすること

□募集と選定方法 まちづくり推進課や各振興事務所、市ウェブサイト(http://www.city.ena.lg.jp/)に備え付けの申請用紙で応募する。選定(交付額)は、審査委員会による書類審査と内容発表の審査により決定する。
□締め切り 3月31日(火)
申・問 まちづくり推進課(内線521)



▲交流人口拡大につながるイベント開催などに助成

☎ 2511515 (月、火曜日休館)

催します。子育ての話を聞いたり、沐浴の仕方を学んだりします。ぜひ参加ください。
□とき 2月22日(日)午前10時(受け付け開始は午前9時半)
□ところ 中コミセン
□対象 平成27年5月、6月に第1子出生を迎える夫婦
□講師 伊藤淑子さん(元東野幼稚園園長)



▲沐浴の仕方などを学ぶ

固定資産税の減免制度

災害で被災するなど、特別な事情がある場合は、来年度の固定資産税を減免することができます。
□対象 次のいずれかに該当する場合。▶災害などで一定の損害を受けた固定資産。▶生活保護を受けている方が所有する固定資産。▶公民館や集会所など公益のために使う固定資産(有料で使用するものは除く)。▶障がい者世帯や未成年者世帯、寡婦(夫)世帯、65歳以上の方のみで構成する世帯が、自己の居住用に所有する固定資産で、次の四つ全て該当する場合。①減免を受けようとする本人名義の土地や家屋②世帯全員の前年所得がそれぞれ38万円(基礎控除額)以下③減免を受けようとする本人が税法上の扶養になっていない④所有する家屋の所在地に住民登録があり実際に住んでいる
□減免対象額 申請日以降の納期に係る納付金額
□申し込み方法 申請書と添付書類を税務課に提出する
□締め切り 納期限の7日前
※平成26年度減免対象の方には申請書を送付します
申・問 税務課(内線135)

お知らせ

古くから伝わる伝統芸能を一堂に披露 第25回市伝統芸能大会



▲地域それぞれの伝統芸能

こととして25回目となる市伝統芸能大会を開催します。今回のテーマは「ふれてみよう つなげていこう 恵那に伝わる 伝統芸能」です。

地域特有の地歌舞伎や文楽、獅子舞など、市内に古くから伝わる伝統芸能を一堂に会し披露します。また花道展示や呈茶コーナー、地域の特産品の販売、あめ細工の実演と無料配布などを行います。

この機会に、市内に伝承されている地域特有の伝統芸能をあらためて楽しみ、恵那市の魅力を再発見してください。

問 伝統芸能大会実行委員会（恵那文化センター内）
☎ 26-3524

□とき 2月22日(日)午前9時半
□ところ 恵那文化センター

□出演団体(出演順) 大井文楽保存会、浅間七福万歳保存会、三郷歌舞伎保存会、大井恵那峡とんとん節保存会、明智太鼓保存会、中野方めれた囃子保存会、山岡歌舞伎保存会、毛呂窪民芸保存会、恵那歌舞伎保存会、中野音頭保存会、明智町歌舞伎保存会、大井栄舞保存会、市内の名士(お目見得だんまり)

声

キャラクターグッズを作り宣伝しては

市公式キャラクター「エーナ」や明知鉄道公式ゆるキャラ「明知鉄道」のカードやステッカー、フッペンバッジなどのグッズを作つて各所に配布すれば、市民が親しみやすくなり、宣伝にもなると思います。

(岩村町・橋本有弘)

答

「エーナ」はイベントなどで缶バッジや絆創膏などのグッズを配布し、「明知鉄道」もポストカードなどを使い、宣伝活動を行っています。

市民に親しまれるキャラクターになるよう、いただいた意見を参考にして今後も宣伝を行っています。

(観光交流室)

みんなの掲示板

『みんなの掲示板』は、皆さんが主催するイベントや各種募集などを市内に周知するためのコーナーです。(営利目的・宗教・政治に関する掲載はできません)
□掲載の申し込み・問い合わせ 総合政策課広報広聴係 (内線324)

みそと五平餅作り講座の受講生を募集

農事組合法人なかのほう不動滝やさいの会では、みそ造りと、みそを使用した五平餅作り教室の受講生を募集します。

伝統料理を手作りする体験をしてみませんか。
□とき 2月14日、28日、3月14日、28日(毎回土曜)



▲みそ作り体験を楽しむ

医療費と介護サービス費の合算制度を利用ください

後期高齢者医療保険や国民健康保険、被用者保険など、世帯内で同じ医療保険の加入者が1年間に支払った医療費と介護サービス費の合計額が自己負担限度額を超えた場合、申請することで限度額を超えた分が支給されます。

□対象 医療保険と介護保険の両方に自己負担額のある世帯で、平成25年8月1日～平成26年7月31日の1年間に掛かった自己負担の合計額が、下表の限度額を超える世帯

□申し込み方法 ▷後期高齢者医療保険(75歳以上)の方=対象の方には12月下旬に申請

書を送付しています。保険年金課か恵那南部地区の振興事務所で申請してください。▷国民健康保険の方=対象の方には、3月中旬に申請書を送付します。保険年金課か恵那南部地区の振興事務所で申請してください。▷被用者保険の方=高齢福祉課で自己負担額証明申請をしてください。詳しくは、加入している健康保険などに問い合わせてください。

※1 被用者保険=各健康保険組合、全国保険協会、共済組合など
問・問 保険年金課 (内線 151)

自己負担額の限度額(年額)一覧表

対象	国民健康保険か被用者保険と介護保険(70歳未満)	国民健康保険か被用者保険と介護保険(70～74歳)	後期高齢者医療保険と介護保険(75歳以上)
現役並み所得者(上位所得者)	126万円	67万円	67万円
一般	67万円	56万円	56万円
住民税非課税	区分Ⅱ	34万円	31万円
	区分Ⅰ	34万円	※2 19万円

※2 区分Ⅰの介護保険利用者が複数いる世帯の介護保険の限度額は31万円で計算されます

映画鑑賞と交流会を開催

NPO法人夕立山森林塾では、「山とともに生きる暮らし」をテーマに、映画鑑賞と交流会を開催します。田舎暮らしや山村振興に関心のある方は、ぜひ参加ください。

□とき 2月28日(土)午後1時半～4時45分

□ところ 恵那文化センター

□内容 ▽第1部 映画鑑賞「新編 粥川風土記 清流・長良川の源流に暮らす」
▽第2部 鈴木直さん(中野方町)、寺澤俊二さん(明智町)、堀賢次郎さん(上矢作町)によるゲストトーク「山暮らしの知恵と技巧「山暮らしの知恵と技巧」

パソコンの3月期講座の受講生を募集

【はじめてのパソコン講座】

□とき 3月3日～31日(24日を除く毎回火曜日)午前9時半～11時半(全4回)

□内容 ウィンドウズ7から8、8.1を使い、文字入力やインターネットの見方など、初心者向けのパソコンの基本操作を学びます。

□料金 700円(別途テキスト代1300円程度が必要)

「ツイッターをやってみよう講座」

□とき 3月5日～26日(毎週木曜日)午後1時～3時(全4回)

□内容 ウィンドウズ7を使い、ツイッター(利用者が「つぶやき」と呼ばれる短い記事を書き込み、他の利用者がそれを読んだり、返信したりすることで会話が生まれるインターネット上のサービス)の使い方を学びます。

□料金 700円(別途資料代300円が必要)

【共通】

□ところ 恵那文化センター
□定員 18人(定員になり次第締め切り)
□申し込み期間 2月15日(日)午前10時から開講日前日まで。初めて受講する方は、2月23日(月)までに申し込みを優先されます。再受講者の受講の可否は、24日(火)以降に連絡します。

問・問 パソコンサポートクラブ ☎ 090-426519727

幻想的な光の空間が出現

NEWS&
12月20日
TOPICS



岩村町のふるさと富田会館で、トラクターや小型車両などをイルミネーションで飾った催しが行われ、幻想的な光の空間が広がりました。地元の子どもたちが絵を描いて電飾した30作品の「ペットボトルイルミネーション」も飾られ、光の演出を盛り上げました。

楽しかったクリスマス会

NEWS&
12月19日
TOPICS



城ヶ丘保育園でクリスマス会が行われました。会では、保育士の仮装による演技などで盛り上がった後、トナカイとサンタクロースが登場しました。園児たちは「サンタさあん」と手を振って歓迎。プレゼントをもらったり、一緒に記念撮影をしたりして楽しい時を過ごしました。

北中生が門松作りにも挑戦

NEWS&
12月25日
TOPICS



恵那北中学校の1年生24人が門松作りにも挑戦しました。生徒たちは、笠置町の遠藤忠夫さんに、門松の材料に込められた意味や始まった経緯などを教えてもらった後、外で門松作りを開始。みんなで協力しながら順番に作業を進め、1対の立派な門松を完成させました。

中学生が将来の上矢作を考える

NEWS&
12月20日
TOPICS



上矢作中学校で「2014上矢作フォーラム 将来の上矢作に向けて」が開催されました。この日は、生徒たちが町のためにこれまで行ってきた企画の実践や町の現状を踏まえ、「地域のために自分ができること」「地域の一人としてできることなど」について発表しました。

年末に消防団員が特別警戒

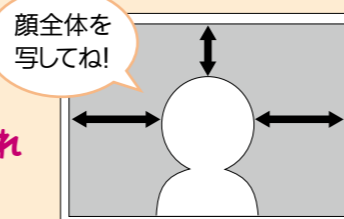
NEWS&
12月26日
TOPICS



12月25日から30日の夜、年末の火災予防や災害の発見と迅速な処置を行うため、消防団員らが年末特別警戒を行いました。26日には、市長や議長らが3班に分かれて、13分団を巡視。「安心して明るい正月が迎えられるよう頼みます」などと激励しました。

募集中

もうすぐ1歳
平成26年3月生まれ
のお子さんを募集



3月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に①住所②氏名(ふりがな)③生年月日④性別⑤電話番号⑥両親の氏名⑦28字以内のコメント⑧ケーブルテレビ放映の可否-を添えて、2月13日(金)までに申し込んでください。
申し込み多数の場合は先着順に掲載します。

□申し込み・問い合わせ
〒509-7292(住所不要) 総合政策課広報広聴係
☎26-2111(内線324)

情報BOX
えな

人ともち
恵那の今を
お届けします



晴れ着の級友ら集った成人式

NEWS&
1月11日
TOPICS



恵那文化センターで、市成人式が開催され、592人の新成人を祝いました。今回のテーマは、「『一歩』明るい未来に向かって」。式では、市長や来賓の祝辞をはじめ、新成人による二十歳のメッセージなどが行われました。新成人は、華やかな振り袖を着るなどして会場に集合。久しぶりに会った級友らと話に花を咲かせていました。

お誕生日
おめでとう!



1歳になりました
HAPPY BIRTHDAY
わが家のBABY 2月生まれ

1歳おめでとう！笑顔いっぱい、元気に大きくなってね！
山岡町
加藤 啓斗くん
父 由幸さん 母 和歌奈さん

1歳おめでとう！これからは泣いて笑って元気に育ってね！
大井町
岩永 蒼空ちゃん
父 直人さん 母 美月さん

1歳おめでとう！☆元気に育って！
長島町
近藤 亜輝くん
父 和磨さん 母 千佳さん

お誕生日おめでとう！これから元気に大きくなってね。
長島町
伊藤 綾音ちゃん
父 弘晃さん 母 亜季さん

1歳おめでとう！これから元気に大きくなってね。
岩村町
宮嶋 優衣ちゃん
父 陽也さん 母 美里さん

うちに生まれてくれてありがとう！1年にして！
大井町
長島 崇帆くん
父 洋平さん 母 若菜さん

真那の笑顔は家族の宝物♡生まれて来てくれてありがとう！
大井町
稲垣 真那ちゃん
父 達也さん 母 亜里さん

★1歳おめでとう！☆笑って遊ぶで元気に大きくなってね♡
上矢作町
塚田 楓花ちゃん
父 一也さん 母 茜さん

「飯地の歴史を後世に残していきたい」と話すのは、飯地町在住の柘植成實さん。古代から現代に至るまでの飯地町の歴史をひもとき、「飯地の歴史」という本にまとめ、自費出版している。

平成18年に、古代と中世、近代をまとめた第1巻を発行。以後、1年に1冊のペースで書き続け、毎回町内全戸や市の施設などに寄贈してきた。昨年12月には、9冊目となる「自史(上)」を発行した。

柘植さんが執筆を始めたのは、18年間務めた市議会議員を辞した平成16年。それまで、飯地町には歴史をまとめた資料が残っていなかったため、「古い歴史や事実をきちんと形に残していなくては」という思いに駆られ、郷土史の研究に着手した。

個人の家を一軒ずつ訪ねて話を聞いたり、墓を調べたり、町内外の資料館などに何度も足を運んだりして、少しずつ情報を集めていった。すっかりした記録がなかなか残っておらず、調査は苦勞を要した。それでも、「過去の姿を少しでも明らかに

学ぼう伝えよう
輝く
恵那人
124

本で伝える飯地の歴史

郷土史を研究しまとめた著書を出版

□プロフィール

昭和6年生まれ。同61年5月から平成16年10月まで市議会議員を務める。著書「飯地の歴史」は現在第9巻まで発行。

恵那で輝いている旬な人を紹介します

飯地町南

柘植 成實さん 84歳

9冊目の自分史は、幼少期からの自身の記憶や、習慣で書き続けていた日記を参考にまとめてみた。史実だけでなく自分自身のことを書くのにはためらいもあったが、「自分史を書くことで時代背景や生活様式が伝わる」と信じ、思い切って書き上げた。

生活の一部であり生きがいでもある執筆活動は、今後も続けていく決意。現在は自分史(下)の発刊に向けて執筆中だ。「堅くなり過ぎず、読みたい人に自由に読んでもらえる本を目指したい」と優しく笑った。



▲平成18年から毎年1冊ずつ発行

にし、わがまちの生い立ちや庶民の生活ぶりを知りたい」という熱意が自らを突き動かした。

完成した本を読んだ人からの評判は上々。次号の完成を楽しみに待っている愛読者もいる。「読んでもらえることが一番の喜び。共感や懐古の声が届くと、書いて良かったと思える」と言う。

体が温まった七草がゆ

NEWS&
1月7日
TOPICS



大井町の市神神社で、「七日福市」が行われました。343年の歴史を誇る新春の伝統的なこの福市には、家内安全や商売繁盛を願い、市内はもちろん市外からもたくさんの方が訪れました。また恵那駅前では、七草がゆが振る舞われ、「体が温まる」などと好評でした。

小学生が家内安全などを祈願

NEWS&
1月4日
TOPICS



三郷町野井地区で正月の伝統行事として受け継がれてきた「なんまいだ」が行われました。地域の小学生らは、太鼓や拍子木などを鳴らしながら各家庭を巡回。1年間の家内安全や無病息災、一家の繁栄を祈願しました。また、どんど焼きを行う日を伝達する役も務めました。

「はい」と元気よくかるた取り

NEWS&
1月13日
TOPICS



申原小学校で校内の百人一首大会が行われました。各組では、朝の会などで百人一首の読み上げを取り入れるなどして、大会に向けての準備を行ってきました。この日、児童らは、読み手の教師の声に聞き耳を立て、「はい」と元気な声を出して札に手を伸ばしていました。

ことしの抱負を書き初めに

NEWS&
1月9日
TOPICS



明智小学校の全校児童227人が書き初めを行いました。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆を使用。児童らは一筆一筆に集中して、丁寧に書き進めました。1年生は「3学期に頑張ること」、2年生と6年生は「ことしの抱負」を文字にしたため、心を新たにしていました。

園児が和太鼓の音を堪能

NEWS&
1月20日
TOPICS



やまびこ保育園で、和太鼓演奏者の加藤拓三さん(大井町)の和太鼓コンサートがありました。加藤さんは、園児のすぐ近くで笛や太鼓を演奏。園児たちは、力強い演奏に「おなかに響いて楽しかった」などと日本の伝統芸能文化の世界を堪能していました。

こまがうまく回ったよ

NEWS&
1月19日
TOPICS



長島町の中野会館で、長島保育園の5歳児24人と「いきいきサロン中野」の高齢者が交流しました。園児らは、歌や踊りを披露した後、高齢者からこまの回し方を習いながら、一緒に遊びました。うまくこまが回ると、園児らは「すごい」「楽しい」と喜びの声を上げました。

【File No. 21 | 大井文楽 おおいぶんらく (大井町)】



平成25年10月に徳島市で行った公演

大井文楽は、昭和26年2月、名古屋市の中京人形近松会から人形首34個を当時の恵那郡大井町（現在の大井町）の有志が譲り受け、大井文楽同好会を結成したことに始まる。この人形首は、主に阿波（徳島県）の人形細工師で名人と言われた初代天狗屋久吉の作品で、21個が県重要有形民俗文化財に指定されている。また天狗屋久吉の弟子たちの11作品が市の有形民俗文化財に指定されている。

最盛期には、20ほどの外題を上演できたが、娯楽の多様化などにより後継者不足となり衰退した。貴重な人形首を保存活用するため、平成元年に有志が大井文楽保存会を結成し、保存伝承活動に取り組んできた。大井文楽は、その活動が評価されて、平成15年には市無形民俗文化財に指定されている。

ひとロメモ

大井文楽保存会の現在の主な活動は、市内外での公演活動の他、大井小学校6年生の総合学習で人形浄瑠璃体験教室の開催など。児童には、市の伝統芸能大会で体験の成果を発表してもらうなど、後継者の育成に努めている。

恵那写真館

私の大好きな1枚
(撮影地：飯地町字烏帽子岩)

飯地町 安田 利幸さん



県道412号は飯地町民にとって生命線。通勤や通学など全ての車が往來します。道幅は狭く、カーブが多く危険な道ですが、事故の少ない道です。

皆さんの
大好きな風景を
気軽に応募くだ
さい！



河合坂

□応募方法 写真か画像データと①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④題名⑤写真の場所(町名)⑥お薦めの理由(70字以内)一を記入した用紙を持参するか郵送、電子メールで総合政策課広報広聴係へ提出する。

次号は
2月15日号
発行日は
2月13日金です



広報えな No.236

2015年(平成27年)
1月30日発行

発行 恵那市役所/編集 総合政策課広報広聴係
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
☎(0573)26-2111/☎26-2155/(IP電話)050-5808-9521
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒ info@city.ena.lg.jp

『広報えな』2月1日号、
1部当たりの印刷経費は
約10.0円(税込み)です。



◀市ウェブサイト
(閲覧用QRコード)
あなたの知りたい情
報を分かりやすく提
供しています。



◀市メール配信サービス
(登録用QRコード)

音声告知放送の文字版ページ▶
(閲覧用QRコード)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインキは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。

